

災害時要援護者関連施設保全



【事業の概要】

高知県土佐町田井地区は、土石流危険渓流の周辺に住宅等が密集する地区です。田井地区の保全対象には、人家42戸の他、地域社会の重要施設である「早明浦病院」（最大収容人員150名）と特別養護老人ホーム「トキワ苑」（最大収容人員80名）等、災害時要援護者関連施設があります。

砂防施設を整備することにより、災害時に自力避難が困難な高齢者が暮らす災害時要援護者関連施設である福祉施設を土砂災害から保全し、安全で安心できる生活基盤の確保など、重大な被害の発生防止を推進しています。

【災害時要援護者関連施設とは】

「災害時要援護者」とは、高齢者、乳幼児、身障者をはじめ、災害時に自力による避難が困難で、援護を要する人のことです。

「災害時要援護者」を対象とした施設のうち、土砂災害や山地災害の被害が及ぶ恐れのあるものを特に「災害時要援護者関連施設」と呼びます。

土佐町田井地区の「災害時要援護者関連施設保全」事業では、「早明浦病院」や特別養護老人ホーム「トキワ苑」等を土砂災害から保全するため、土石流対策としての砂防えん堤を重点的に進めています。



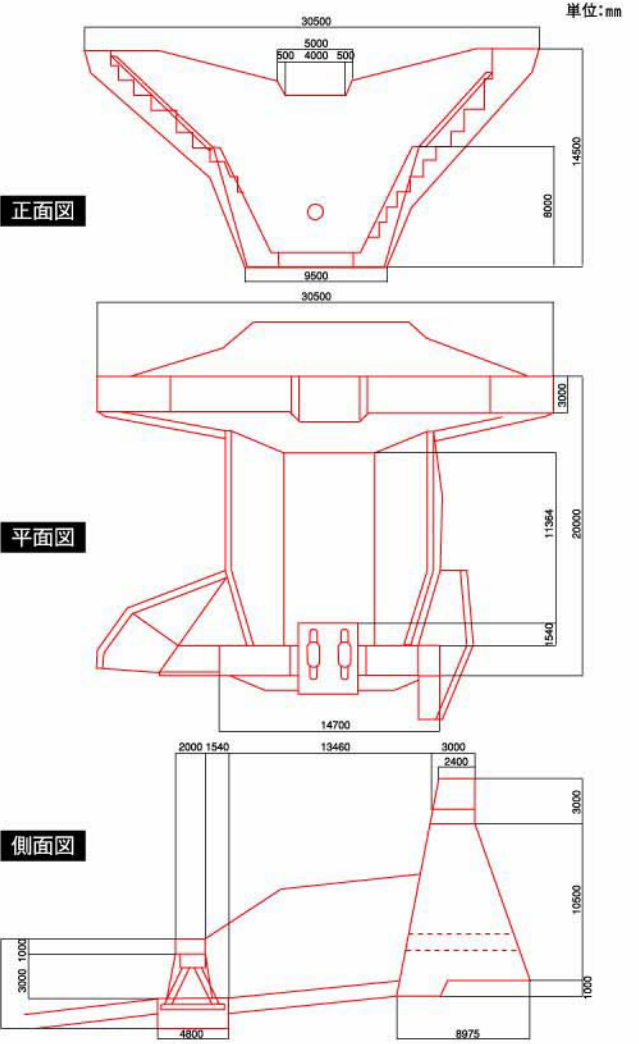
谷の本小谷えん堤

■事業の特徴
〈間伐材型枠の使用〉
間伐材を利用した残存型枠を使用することで、自然景観に配慮するとともに、間伐材の有効利用と林業の活性化を支援しています。



■流域諸元			
流域面積	0.011km ²	平均溪床勾配	1/4

■谷の本小谷えん堤計画諸元			
計画流出土砂量	1,470m ³	形式	コンクリート重力式
計画流木量	30m ³	本堤高	11.5m
施設効果量	1,500m ³	本堤長	30.5m
整備流木量	30m ³	本堤体積	1,144m ³



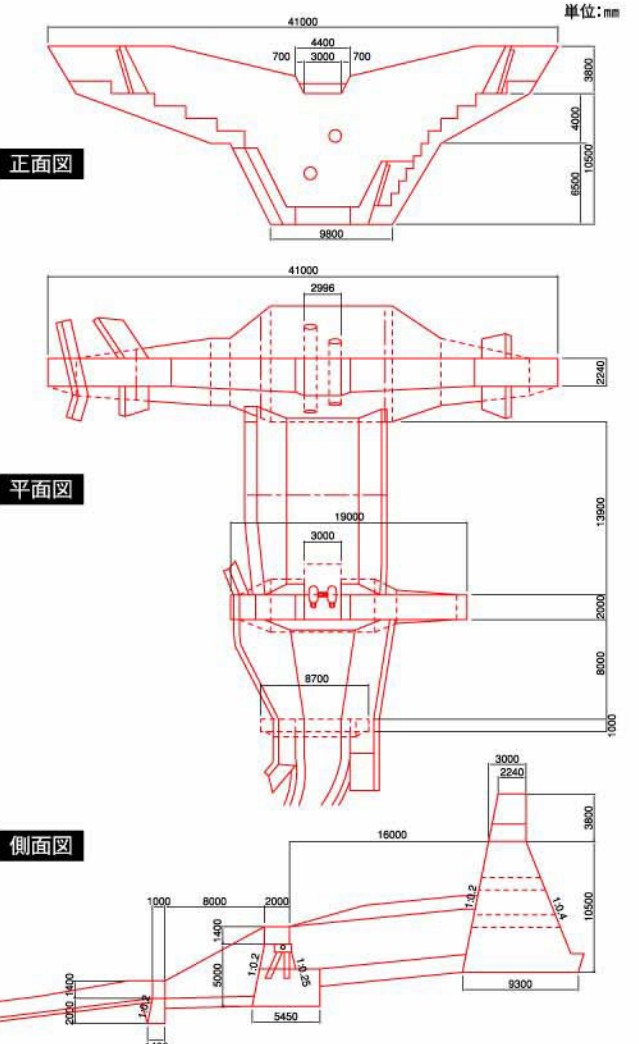
下モ田谷えん堤

■事業の特徴
〈間伐材型枠の使用〉
間伐材を利用した残存型枠を使用することで、自然景観に配慮するとともに、間伐材の有効利用と林業の活性化を支援しています。



■流域諸元			
流域面積	0.053km ²	平均溪床勾配	1/3.8

■下モ田谷えん堤計画諸元			
計画流出土砂量	1,400m ³	形式	コンクリート重力式
計画流木量	116m ³	本堤高	10.5m
施設効果量	1,810m ³	本堤長	41m
整備流木量	40m ³	本堤体積	1,530m ³



大きな安全—山系四国

国土交通省 四国地方整備局
四国山地砂防事務所
〒779-4806 徳島県三好市井川町西井川68-1
TEL.0883-72-5400 FAX.0883-72-5741

吉野川砂防出張所
〒781-3601 高知県長岡郡本山町本山465-6
TEL.0887-76-3901 FAX.0887-76-3477
URL <http://www.skr.mlit.go.jp/sabo/>